

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月 15日

事業所名 放課後等デイサービス ブロック

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		テーブル等によって、活動内容によって行う場所を定めています。	
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員を基準に適した人数で配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		室内に段差等が出来ないよう、設備の設置には考慮しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		会議等で支援の振り返りや課題などを話し合っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		頂いた意見を参考にミーティングで検討しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		必要に応じて、活用を検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		外部研修を告知し、参加した際は、職員間で情報共有致します。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		契約時等に聞き取りを行い、ニーズや目標を共有し、支援計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		使用しています。適時アセスメントの更新も行うようにしています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		ミーティングを行い、職員間で療育内容を検討しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		季節の変化や、子どもの状況に応じ、活動プログラムを考案しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		休日、長期休暇に普段出来ないような活動を行なうようにしてます。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		子どもの状況や成長に応じ、内容を配慮して作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		始業時に、利用人数、その日のメンバー確認、連絡事項の共有の上、担当を決めています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		翌日、始業時に併せて行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		日報・個人記録に支援の実施を記入し、進行状況の把握に努めています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		半年ごとに計画の評価・立案・作成を行っています。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>	子どもに応じ、活動内容を考慮し支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>	児童発達支援管理責任者が出席するようにしています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>	随時、保護者様や学校と連絡を取り、確認を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>	該当なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>	保護者を通して、もしくは保護者の了承を得たうえで直接情報共有を行う。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>	保護者を通して、もしくは保護者の了承を得たうえで直接情報共有を行う。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>	他事業所や西宮市から紹介頂いた外部研修に参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>	今年度は実施機会がありませんでした。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>		可能な限り参加できるよう努力いたします。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>	送迎時やLINEを活用することによって随時共有出来るようにしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン特レーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>	保護者と児童についての情報共有や意見交換は随時行っています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>	契約時と質問があった際に行います。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>	必要に応じ、育児相談、就学相談などの対応を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>		保護者参加型イベントの開催等、考案したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>	苦情窓口を設けています。苦情には迅速に対応し会議で再発防止の検討を行います。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>	活動内容の報告や写真等をLINEを通じてお知らせ出来るようにしています。	
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>	個人情報保護マニュアルを作成しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>	本人にとって最も負担なく有効な意思の疎通の方法を考慮しています。	

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>	行っていない。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>	職員には入社時にマニュアルを読み報告書を提出する事を義務付けています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	定期的に自衛消防訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	事業所内で定期的に研修を行うようにしています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>	該当者なし。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>	該当者なし。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	ヒヤリハットが起こった際は再発防止の検討を行っています。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 3年 2月 15日

事業所名 放課後等デイサービス ブロック 保護者等数(児童数) 12名 回収数 11名 割合 91%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1			以前は専門性に疑問がある職員もいたが、今はおおむね適切だと思います。	現状維持ではなく、今後も研修等の実施によって支援の質の向上に努めてまいります。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	3				
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10	1				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	2				
保護者への説明等	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	3	4			
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	1				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるか	11					
非常時等の対応	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	3	5			
満足度	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11					
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11					
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	5				
満足度	14	個人情報に十分注意しているか	9	2				
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	6			「周知、徹底」と問われると疑問です。	契約時等に念入りに説明させて頂くよう心がけます。
満足度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	5	2			
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	11				曜日、メンバーによるが、概ね楽しみだと思います。	常に楽しんで来所頂けるように努力いたします。
	18	事業所の支援に満足しているか	11					

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月 15日

事業所名 放課後等デイサービス ブロック

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		テーブル等によって、活動内容によって行う場所を定めています。	
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員を基準に適した人数で配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		室内に段差等が出来ないよう、設備の設置には考慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		毎日の清掃や整理整頓を行い、活動時は室内の温度調整、湿度調整、換気留意しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		会議等で支援の振り返りや課題などを話し合っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		頂いた意見を参考にミーティングで検討しています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		必要に応じて、活用を検討します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		外部研修を告知し、参加した際は、職員間で情報共有致します。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		契約時等に聞き取りを行い、ニーズや目標を共有し、支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		使用しています。適時アセスメントの更新も行うようにしています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		明確な目標(長期目標と短期目標)を設定し、具体的に記載しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		職員間で支援計画を把握し、計画に沿った支援を提供しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		ミーティングを行い、職員間で療育内容を検討しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		季節の変化や、子どもの状況に応じ、活動プログラムを考案しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		子どもの状況や成長に応じ、内容を配慮して作成しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		始業時に、利用人数、その日のメンバー確認、連絡事項の共有の上、担当を決めています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		翌日、始業時に併せて行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日報・個人記録に支援の実施を記入し、進行状況の把握に努めています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年ごとに計画の評価・立案・作成を行っています。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が出席するようにしています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		随時、保護者様や幼稚園と連絡を取り、確認を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	該当なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	該当なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者を通して、もしくは保護者の了承を得たうえで直接情報共有を行う。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者を通して、もしくは保護者の了承を得たうえで直接情報共有を行う。	
関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他事業所や西宮市から紹介頂いた外部研修に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	今年度は実施機会がありませんでした。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		可能な限り参加できるよう努力いたします。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やLINEを活用することによって随時共有出来るようにしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者と児童についての情報共有や意見交換は随時行っています。	
児童発達支援計画の実施	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時と質問があつた際に行います。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画の見直しの時期には保護者の方との面談を行い、支援内容を説明しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		必要に応じ、育児相談、就学相談などの対応を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>		保護者参加型イベントの開催等、考案したい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		苦情窓口を設けています。苦情には迅速に対応し会議で再発防止の検討を行います。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		活動内容の報告や写真等をLINEを通じてお知らせ出来るようにしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>		個人情報保護マニュアルを作成しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		本人にとって最も負担なく有効な意思の疎通の方法を考慮しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		<input type="radio"/>	行っていない。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>		職員には入社時にマニュアルを読み報告書を提出する事を義務付けています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		定期的に自衛消防訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	<input type="radio"/>		契約時やアセスメント更新時に確認を行っています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		該当者なし。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		ヒヤリハットが起こった際は再発防止の検討を行っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		事業所内で定期的に研修を行うようにしています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>		該当者なし。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 放課後等デイサービス ブロック 保護者等数(児童数) 4名 回収数 4名 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	4					
	2	職員の配置数や専門性は適切である	3			1		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4					
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	4					
	6	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2			2		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている				4		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	1	1		
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	4					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	4					
適切な支援の提供	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアメント・トレーニングiv等)が行われている	4					
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4					
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	4					
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	1	1	1		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	3			1		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	4					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	3	1				
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	2	1		1		
満足度	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	1		1	2		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	1		1	2		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	4					
	23	事業所の支援に満足している	4					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。